

1 出入口

良くない事例



視覚障害者誘導用ブロックを敷設していますが、公園内から外へ出る時に、視覚障害者が車止めに衝突する可能性があります。

良い事例



車止めと車止めの内寸法で有効幅員120cmを確保し、視覚障害者誘導用ブロックは、視覚障害者が車止めに衝突しないよう誘導しています。



出入口は階段付きの傾斜路としており、視覚障害者誘導用ブロックにて誘導を行っています。傾斜路の上端、下端には点状ブロックを敷設し、手摺も設置しています。上記ブロックと路面の色彩の明度差を大きいものとするため、上記ブロックを明度差の大きい色彩にて、路面を縁取りしています。階段は段鼻と踏面の色彩を明度差の大きいものとしています。しかし、階段の上端に接する部分に点状ブロックの敷設、手摺の設置が望ましいです。

2 園路

良い事例



右側の縁石は利用者が侵入すると危険なため、10cm程度の高さを設けています。左側は芝生広場に接続しており、自由に出入りができるよう高さを設けていません。



.....

花壇への侵入を禁止するため、縁石に10cm以上の高さを設けています。



.....

グレーチング蓋は細めタイプ、滑り止め付きのものとしています。



.....
コンクリート蓋の手掛け穴を、つえ、車いすのキャスター等が落ち込まないように蓋をしています。



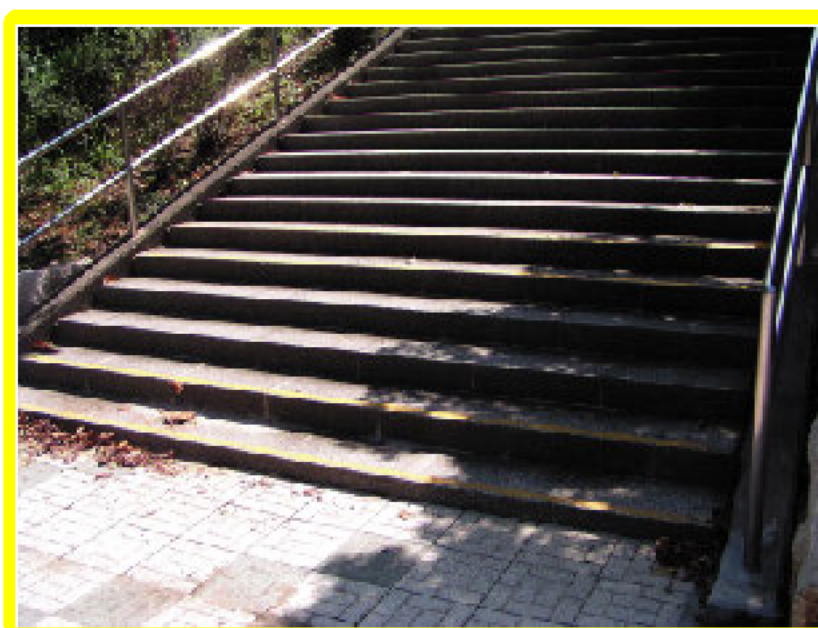
.....
せせらぎとふれあえる園路を設置しています。車椅子使用者等が落下しないよう、端部に10cm程度の高さを設けています。

3 階段

良くない事例



両側に立上げを設け、2段手摺を設置していますが、段鼻と踏面の色彩の明度差がありません。
また、階段の上端に接する部分に点状ブロックが敷設されていません。



段鼻と踏面の色彩の明度差を大きくするため、貼り付け式のものを敷設していますが剥がれてきています。できれば、施設と一体式のものが望ましいです。

良い事例



広い階段でも両側に立上げを設け、段鼻と踏面の色彩を明度差の大きいものとしています。しかし、階段の上端に接する部分に点状ブロックの敷設、手摺の設置が望ましいです。



広い階段でも中央に二段手摺が設置されています。しかし段鼻と踏面の色彩の明度差が小さいのと階段の上端に接する部分に点状ブロックの敷設が望ましいです。



両側に立上げを設け、二段手摺、階段の上端に接する部分に点状ブロックが敷設されています。また、段鼻と踏面の色彩を明度差の大きいものとしています。手摺の端部を下方に曲げて止めることにより、服が引っかかったりしないよう配慮されています。

4 傾斜路

良くない事例

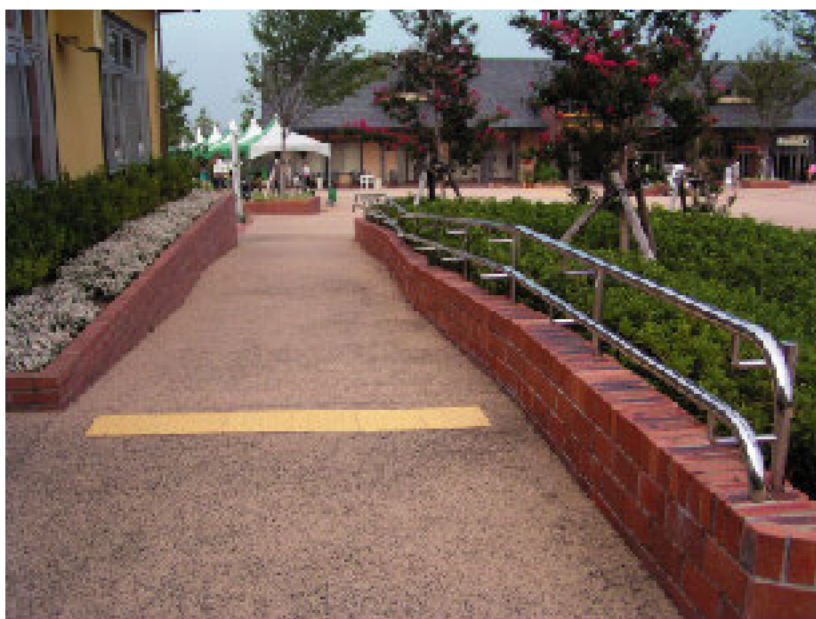


傾斜路に立上げを設け、二段手摺を設置していますが、傾斜路の上端に接する部分に点状ブロックが敷設されていません。

良い事例



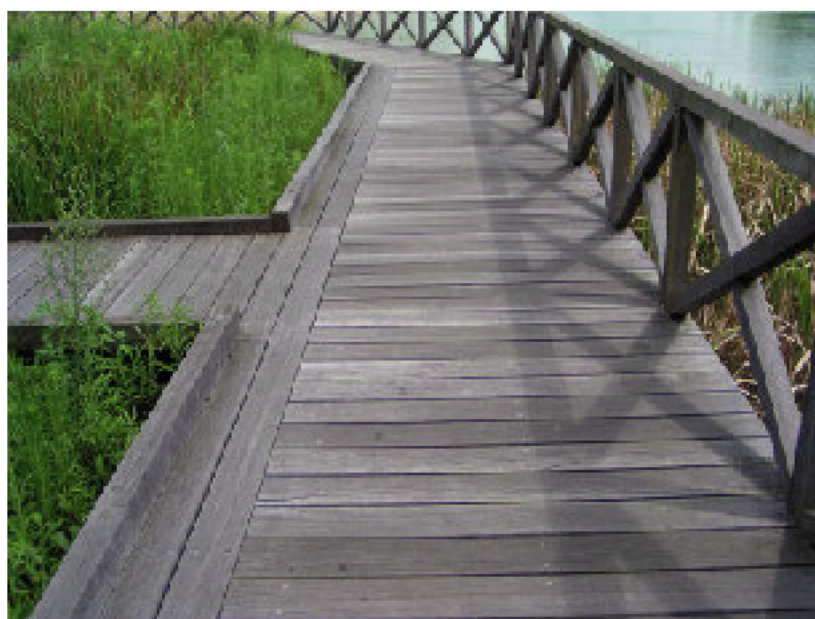
両側に立上げを設け、二段手摺を設置し、傾斜路の上端に接する部分に点状ブロックが敷設されています。また、手摺の端部を下方に曲げて止めることにより、服が引っかかりたりしないよう配慮されています。しかし、敷設位置が傾斜路に近すぎます。



両側に立上げを設け、二段手摺を設置し、傾斜路の上端に接する部分に点状ブロックが敷設されています。また、手摺の端部を下方に曲げて止めることにより、服が引っかかりたりしないよう配慮されています。



木製散策路ですが、両側に二段手摺が設置されています。しかし、両側の立上げ、傾斜路の上端に接する部分に点状ブロックが敷設されていません。



写真園路の左側が立上げの一例です。

歴史的建造物の出入口



歴史的建造物の階段



傾斜路



歴史的建造物についても傾斜路を設置することにより、車椅子使用者等が見学できるようになっています。

.....